

あとがき

当館の『研究報告』は、平成八年度に第一号を刊行して以来、おかげさまで今回第一二号を刊行することができました。これもひとえに皆様方の御協力、御指導の賜物と感謝しております。

今号では、大島東洋大学名誉教授が昨年度当館主催の歴史講座で御講演されました「利根川流域とアンバ信仰」を活字にしたものです。アンバ信仰の実態について詳細に理解することができません。また、当館展示協力員の中村氏からは、前号に引き続き関宿藩御定法を、野田地方史懇話会古文書研究会からも、前号に引き続き船橋随庵関連の史料を紹介していただきました。そして、研究ノートとして四名の当館展示協力員から玉稿を頂戴しました。その中で、新井氏は戦国期の関宿城下に関する論考を紹介するとともに再検討を試み、市川氏は日本水準原点の設置における歴史的経過を体系的に整理し、松井氏は木造船の劣化腐食に関する情報の蓄積の必要性から、船板や船釘などの劣化腐食状態を調査し、岩槻氏は当館周辺の植生が変化していることから、最近の植生をエリアごとにまとめています。各氏とも、御専門の立場から研究された極めて貴重な論考です。

これからも当館のテーマに関係するさまざまな研究成果を、地道に、少しでも多く、御紹介していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

なお、当館の展示協力員制度は、任期を二ヶ年（平成二〇・二一年度）とし、次の方々に委嘱しております。

- ・新井浩文〔地域史〕（埼玉県立文書館主任学芸員）
- ・石田年子〔民俗〕（野田市文化財保護審議会委員）
- ・市川幸男〔河川土木〕（国土交通省国土交通大学校建設部建設第一科長）
- ・岩槻秀明〔自然科学〕（野草研究家・気象予報士）
- ・中村正己〔地域史〕（元境町教育委員会町史編さん室参事）
- ・松井哲洋〔和船研究〕（和船研究家）
- ・松丸明弘〔河川交通史〕（千葉県立東葛飾高等学校教諭）

千葉県立関宿城博物館 研究報告

第12号

平成20年9月30日発行

編集・発行 千葉県立関宿城博物館

〒270-0201 千葉県野田市関宿三軒家143-4

電話 04(7196)1400

FAX 04(7196)3737

印刷・製本 成田商事株式会社

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-17-15

電話 029(869)8755

FAX 029(869)8756
